

## それぞれが自分の立場で取り組みを

別府宏園 (TIP 代表)

いくつか非常に激しいやりとりがありました。それはむしろ歓迎すべきことです。確かに Evidence-Based Medicine にしろ、Cochrane Collaboration にしろ、使い方によっては非常に問題があるだろうと思います。悪口を言う人は、ゴミくずをいくら集めてもゴミくずしかできないと。しかし、ゴミの山の中から本当の物を拾うプロセスを練習するのが、Evidence-Based Medicine なり Cochrane Collaboration だと思います。

Evidence-Based Medicine は人の性善説に立った、非常にあっけらかんとしたところがあります。それを積み重ねていけば必ずある真理に到達するだろうという。Cochrane Collaboration を見ていますと、非常に熱狂的なファンがいます。最初に作ったイアン・チャーマー自身が、ある日川べりをジョギングしていたらふっとこういう組織を作ったらどうだろうと浮かんだというのです。もちろんアーチャー・コ克蘭がいたからですが。イアン・チャーマー自身非常に楽天的ですが、楽天的であることは良いことだと思います。何かやって行けば、必ずそこに進歩がある。そうあることでオープンな議論もできるし、相手の立場も認めることもできるのではないかと思います。

それぞれが自分の立場で興味を持てることをやっていただければ、それが一つの進歩に繋がると思います。